

科目名	美容芸術研究		教員名	富田 知子	
Subject	Study of Art of Beauty				
開講年次	2	開講時期	後期	単位	2
必修／選択	必修	授業形態	演習	時間	30
実践的教育	○				
主な学習効果	1) 美容技術とデザイン力、すなわち美容における実践力		2) 表現力、すなわち芸術における実践力		
	◎		◎		
科目の概要	美容芸術としては当然、作者自自新のイメージ表現が重要視されるが、美容は本来、人体をもとに考えられるものであるため、その素材となる人物のもつ条件を十分に生かすという条件が生まれる。しかしその制約や条件から生まれる新しい表現もある。前期スタイルドローイングで制作した作品をもとに、人体表現を行うことでそのよう新しい表現を見つけ出す。				
授業の目標	前期スタイルドローイングで制作した作品を、人体に落とし込み作品制作を行うため、モデルとの協議を行い、モデルとコンセプトを共有する必要がある、プレゼンテーション用コンセプトシートを作成することができる。 作品は写真撮影を行い、写真での表現も併せてできるようになる。				
時間外学習 (予習・復習)	制作のための素材を集め、アクセサリーの制作などを行い、授業内の作業が計画に基づき進むように予習・復習を行う。約60分～90分行う。				
教科書・教材	教科書	必要に応じ指定します			
	教材	美容材料他			
	使用設備・備品	代々木スタジオ カメラ			
	参考文献	必要に応じて提示します			
評価方法	計画の履行と最終作品およびコンセプトシートの提出。プレゼンテーション				
	なお、出席数が不足の場合は評価対象とはしません。				
学生へのフィードバックの方法	個別に実地指導を行います。				
履修上の注意	撮影日に撮影ができない場合単位は取得できません。				
本科目履修と関連する資格	資格名	特にありません。			

授業計画			
	授業内容	到達目標	予習・復習・備考
第1回	授業内容ガイダンス	制作の計画を構成することができるようになる。	前期のスタイルドローイングのコンセプトシートの確認
第2回	作品制作に向けてのイメージの構築	前期のスタイルドローイング作品を人体に落とし込むことができるようになる。	新たにイメージソースの収集
第3回	作品コンセプトの決定	収集したイメージより形を探ることができるようになる。	次回までにヘアスタイルの形のイメージを固める
第4回	ヘアスタイルの決定	ヘアスタイルのデッサンを行い構想を固めることができるようになる。	ヘアスタイルの色を探る
第5回	ヘアスタイルの色の決定	ヘアデッサンに色を入れることができるようになる。	メイクのイメージを探る
第6回	メイクデザインの決定	メイクをデッサンすることができるようになる。	ヘアアクセサリについての情報の収集
第7回	ウィッグでヘアスタイル試作	デザインをウィッグで制作することができるようになる。	ヘアスタイルのパーツなどを作っておく
第8回	ウィッグにメイク試作	ウィッグの顔にメイクし確認することができるようになる。	メイクに必要な材料の選択と準備を行っておく
第9回	アクセサリの制作	アクセサリをデザインし必要な材料のリストアップすることができるようになる。	ヘアアクセサリについての材料をそろえる
第10回	アクセサリの制作	ヘアアクセサリの制作を行い完成させウィッグにつけて確認することができるようになる。	美容材料；ピンなどの準備
第11回	ウィッグによる試作	実際にヘアスタイルを作って確認することができるようになる。	実際仮のモデルに行うための俊美
第12回	全体を仮のモデルで制作	仮のモデルにヘアメイクを施し、所要時間などの確認することができるようになる。	一人1時間で施術が完了するように練習を行い、撮影に必要なものを準備する
第13回	撮影	実際のモデルでの撮影することができるようになる。	撮影した感想をまとめておく。
第14回	撮影データの確認と選択	データを確認・選択しプリントすることができるようになる。	展示用に準備行う
第15回	プレゼンテーション	写真をもとにプレゼンテーションを行うことができるようになる。	作品をポートフォリオに整理をする。